

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 図画工作

番号 観 点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
	開隆堂	〈図画工作〉 105・106・305・306・505・506
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の目標や基本的な内容が分かりやすく、的確に示されている。また、児童の発達の段階に応じた題材が取り上げられ、系統的に構成されている。 ○ 「造形遊びをする活動」については、触れながら感じたことを行ったり、段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫したり、光や水のよさを生かし、組み合わせで表したりすること等を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わえるよう意図されている。 ○ 「絵や立体、工作に表す活動」については、指を使った描き方を工夫して絵に表したり、色々な布の形や色から作りたいものを考えたり、季節を感じて表したいことや表し方を考えたりすること等を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わえるよう意図されている。 ○ 「鑑賞する活動」については、友達の描いた好きなものを見て楽しんだり、作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考えたり、墨や筆の色々な技から作品のよいところを考えたりすること等を通して面白さや楽しさを感じとれるよう意図されている。 ○ [共通事項]については、のびした絵の具の形や色から表し方を考えたり、影の形から表したいことを考えたり、人の動きや形を捉えて表し方を工夫したりすること等を通して、形や色等を基に自分のイメージをもつよう活動が工夫されている。 ○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、どんな作品にしたいのかを考え、友達と話し合い、交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動となるよう工夫されている。 	
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第1・2学年では、箱と箱を組み合わせて立体に表す活動、身近な自然を材料に使う造形遊びをする活動、第3・4学年では、枝を材料にした造形遊び、身の周りで出会う花を絵に表す活動、材料や方法等について、第5・6学年では、学校のお気に入りの場所を絵に表す活動、ビニルひもを使った造形遊びをする活動等、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 版型はA4判である。総ページ数は128～132ページで、前回から14～18%増となっている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ いきいきと活動する児童の姿の写真を掲載したり（全学年）、地域の伝統文化や材料等を生かした造形活動を取り上げた「みんなのギャラリー」を掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「図画工作を学ぶ皆さんへ」を設けたり（全学年）、「未来へつながる図画工作」を設けたり（第5・6学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 他教科との関連については、教科のみならず学習方法の提案がなされている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 	

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 図画工作

番号 観点	発行者略称	教科書番号
	日文	〈図画工作〉 107・108・307・308・507・508
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科各学年の目標・内容等〕	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の目標や基本的な内容が分かりやすく、的確に示されている。また、発達の段階に応じた題材が取り上げられ、系統的に構成されている。 ○ 「造形遊びをする活動」については、砂や土に触れながら感じたことを行ったり、段ボールに切り込みを入れて組み立てたり、身近な場所にある特徴を捉えてつくりかえたりすること等を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わえるよう意図されている。 ○ 「絵や立体、工作に表す活動」については、紙を破いてできた形を並べ絵に表したり、用具を使って切り出したねん土を組み合わせたり、電動のこぎりを使い自由に切った板の形を組み合わせたりすること等を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わえるよう意図されている。 ○ 「鑑賞する活動」については、身の回りの自然や身近な物の触感を味わい言葉で表現したり、身の回りの形や色を写真に撮影し、形や色のよさを感じ取り交流したり、友だちの作品や考えに触れ自分の思いを伝えたりすること等を通して、面白さや楽しさを感じとれるよう意図されている。 ○ [共通事項]については、紙を折ったり切ったりして紙を立たせたり、のこぎりを使って切った木の形を組み合わせる立体に表したり、今日的な社会問題を踏まえた未来の町づくりを計画し模型で表したりすること等を通して、形や色などを基に自分のイメージをもつよう活動が工夫されている。 ○ 「主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応」については、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、友達と話し合い、交流するなど、考えを広げたり深めたりする活動となるよう工夫されている。 	
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、第1・2学年では、砂や土の造形遊び、身近な自然を観察する活動、第3・4学年では、ひもを使った造形遊び、段ボールを使った立体に表す活動、第5・6学年では、日常的に使用する道具に形や色を施す工作や、自然を感じる造形遊びの活動等、材料や方法等について、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるような構成し、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 版型はA4判である。総ページ数は128～138ページで、前回から0%～8%増となっている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業での児童の表情や試行錯誤する情景写真を掲載したり（全学年）、全国のさまざまな造形活動や美術館の取組、伝統工芸、美術作品などを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫として適している。 ○ 「教科書の使い方」を設けたり（全学年）、「図画工作での学びをふり返ってみよう」を設けたり（第5・6学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がなされており、大変よくできている。 ○ 題材ごとに三つの育てたい資質・能力を示した「学習のめあて」を掲載したり（全学年）、カラーユニバーサルに配慮したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られているとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、材料用具の使い方や作品動画を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。 ○ 二次元コードからの参考作品数が多い。 ○ 安全面へ配慮すべき事項の記載がある。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ※小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 	